

スポーツ団体組織統合に関する提案書（案）

スポーツ団体組織統合検討会議まとめ

期日：令和6年10月22日

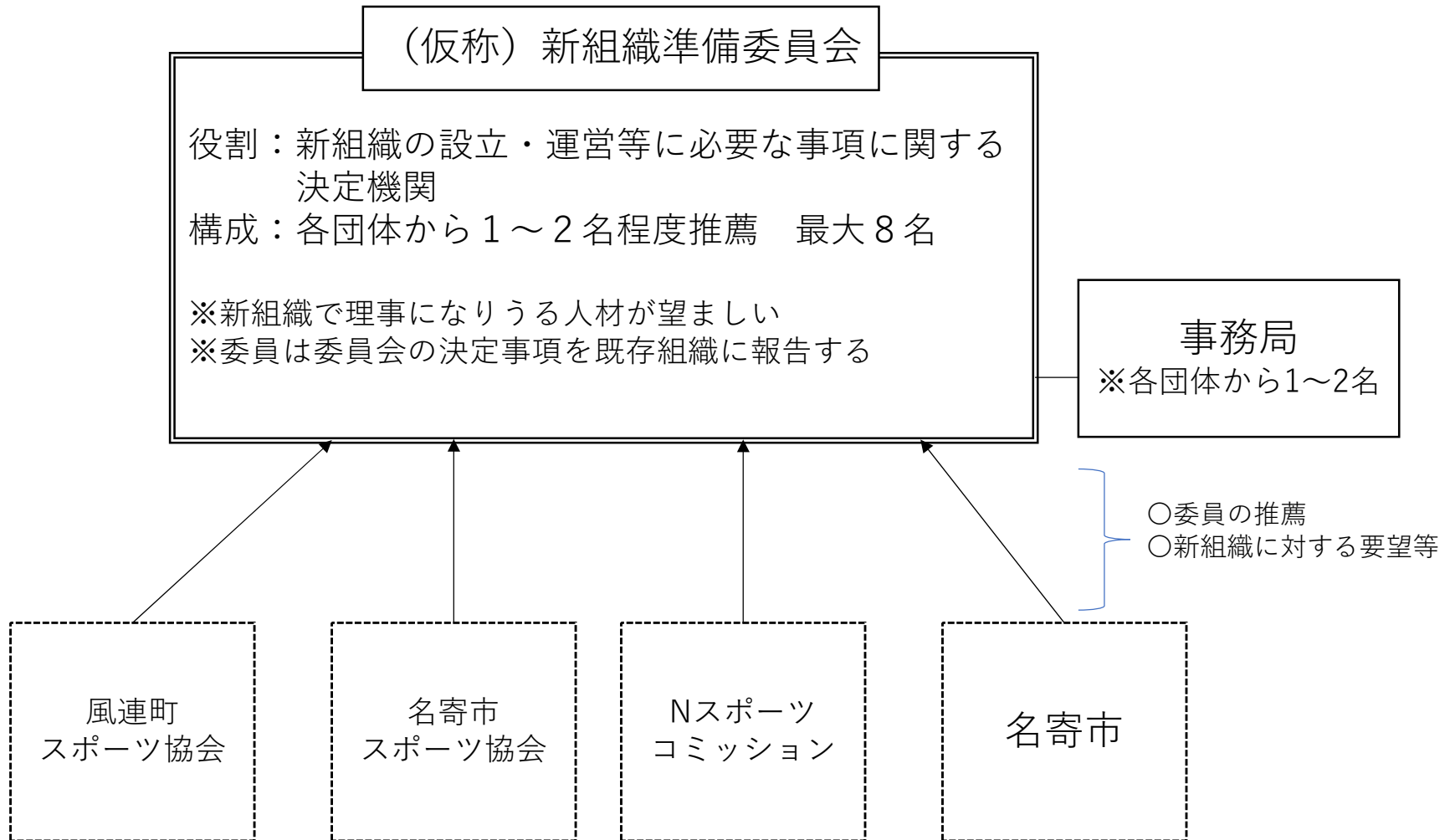
会場：風連町地域交流センター

スポーツ団体組織統合検討会議における基本的合意事項

1. 令和7年度に一般財団法人名寄市スポーツ協会、風連町スポーツ協会、Nスポーツコミッションを統合した新たな法人組織を設立する。
2. 新法人組織の設立にあたっては、関係団体から構成する（仮称）新法人設立準備委員会を設置して、当該委員会が新法人に設立・運営に必要な事項を決めていく。
※詳細は本書P5「準備委員会の主な業務内容等」、及び別紙ガントチャート参照

仮称) 新組織設立準備委員会

準備委員会構成



準備委員会の主な業務内容等

1	法務・設立関係	目的・事業内容の確定、定款、各種規約・内部規定
2	財務・会計関連	資金計画、初年度予算、資産管理、経費効率化
3	人事・採用関係	役員選出 事務局決定、人員配置と求人、指定管理スタッフへの説明
4	事業関係	既存事業の実施計画、事業戦略、新規事業等の検討、 現加盟団体向けワークショップ
5	コミュニケーション	現役員・加盟団体・指導者・ジュニア向けイベント開催 定期的な説明会、市民周知
6	リーガルチェック	統合手続き・規制対応など
7	インフラ関係	サーバー、広報、SNS、印刷物
8	統合後のロードマップ	新組織の短・中・長期の目標設定

新組織について

Nスポーツコミッションなよろ

新組織では、スポーツ協会機能や、スポーツ推進、スポーツ環境の維持等に関する業務だけでなく、他団体・企業などとの共同で新しい価値の創出をしていくことを目指します。

その点から鑑みると「スポーツコミッション」の名称がふさわしく、また人口減少が進むことで、広域連携が必要な事業も増えていくことが予想されることも踏まえて、名寄市に特化しない名称が良いと判断いたしました。

しかし、「Nスポーツコミッション」の名称では、どの地域の団体なのか、一目でわかりにくいこともあり、コミッションの後ろに「なよろ」の文字を入れました。また、今後、「なよろ」の部分に近隣地域の名称を入れるなど、他地域での事業展開も視野に入れています。

頭文字の**N**はNayoro・North・Network・Navigator・Newの意味が込められています

組織の所在地・ロゴマーク

【所在地】

〒096-0012

名寄市西7条南12丁目

名寄市スポーツセンター内



【ロゴマーク】

現Nスポーツコミッションのロゴがベース
になっている



N SPORTS COMMISSIONなよろ

3つの理念

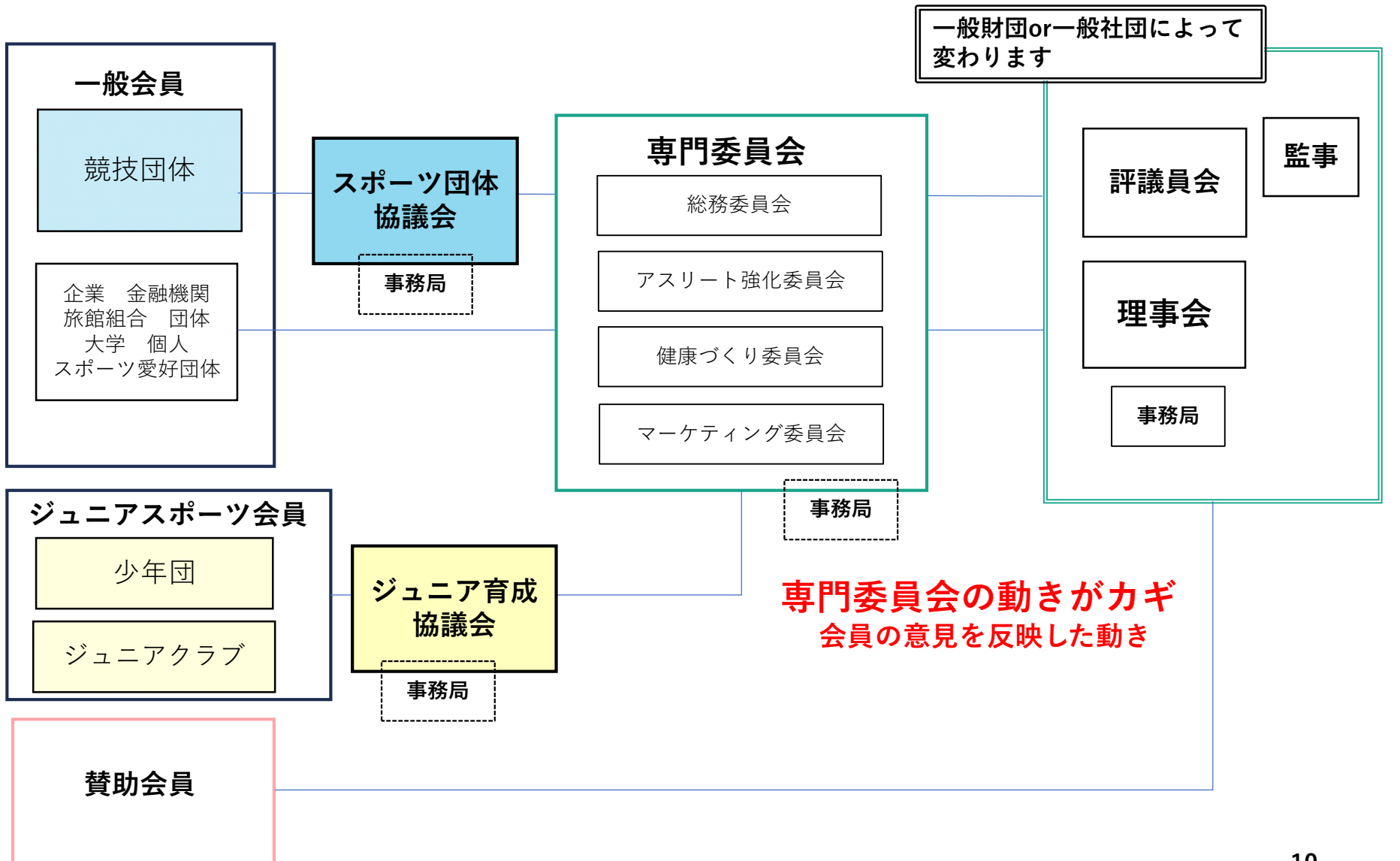
- 1 身体的、精神的、社会的に良好な市民が暮らす街
- 2 街の資源を利活用し、産業・経済が好循環する街
- 3 新たな価値や良い人材を生み出し、
日本・世界に提供していく街

私たちはスポーツを通じて、街づくりを実現していきます

私たちはスポーツを通じて、多様な人や組織と協働して地域に貢献します

私たちはスポーツを通じて、新しい価値を創出していきます

新組織の全体像



統合後の事業イメージ①

統合後

一般財団法人 Nスポーツコミッションなよろ
100,163千円/年

(指定管理86,913千円 + 補助金・運営資金13,250千円)

統合前 (R6予算ベース)

名 寄 市

風連町スポ協
1,140千円

少年団補助金
組織運営補助金

名寄市スポ協
89,913千円

指定管理費
ジュニア競技力強化補助金
組織運営補助金

Nスポ
9,110千円

育成・健康づくり等負担金
経済活性・まちづくり負担金
組織運営負担金

統合後の事業イメージ②

統合後

一般財団法人 Nスポーツコミッションなよろ

81団体3,025人

統合前 (R5年度)

風連地区少年団
4団体64人

名寄地区少年団
17団体357人

風連町スポ協
8団体242人

名寄市スポ協
31団体2,332人

Nスポ
21団体30人

業務

区分	内 容
風連 スポ協	<p>【主催事業】 ①風連地区市民パークゴルフ大会</p> <p>【競技団体関連】 ①加盟団体主催大会助成（PG・ソフトテニス・卓球・トランポリン） ②スポーツ表彰</p>
Nスポ	<p>【主催・共催事業】 ①健康づくりイベント ②障がい者スポーツイベント ③スポーツ・運動機会創設イベント ④幼稚園・保育所トレーナー派遣 ⑤健康科学による市民健康づくり事業</p> <p>【ジュニア育成事業】 ①ジュニアスポーツアカデミー ②スポーツ講演会 ③北海道ジュニアスポーツエコシステム事業（部活動関連）</p> <p>【経済活性化事業】 ①大会・合宿誘致 ②スポーツフード開発・研究 ③スポーツツーリズム</p>

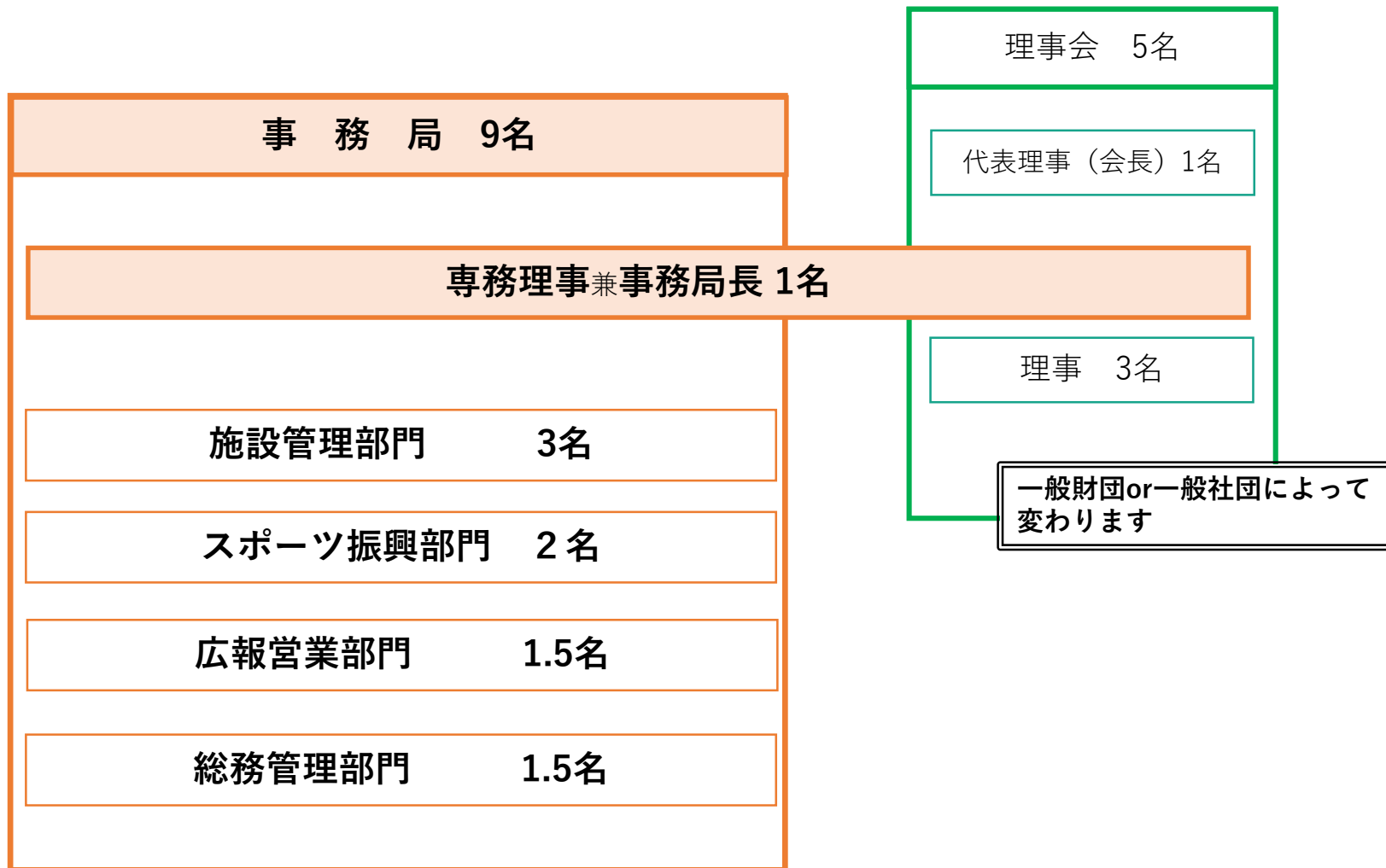
業務

運営資金調達等に関する新たな業務に加えて、3団体（名寄体協・風連スポ協、Nスポ）が実施している業務は、当面、継続します。

区分	内 容
新たな業務	①運営資金調達に関する事業 ②中学運動部活動の地域移行に関する業務 ③ジュニア育成に関する新たな環境構築に関する業務 ④風連地区スポーツ施設指定管理の検討
名寄スポ協	【主催・共催事業】 ①一般向け長期スポーツ教室 ②子ども向け短期スポーツ教室 【競技団体関連】 ①日本・北海道スポーツ協会登録業務 ②加盟団体主催教室・講習会・市民大会助成 ③競技力向上強化事業助成（合宿・指導者養成） ④スポーツ表彰 【少年団事業】 ①日本・北海道スポーツ少年団登録業務 ②スポーツ少年団合同体力テスト（年1回） ③少年団活動助成 【施設関連】 ①指定管理業務（R3～R8 7施設）

新事務局体制について

事務局体制（全体像）



事務局体制（人数構成）

計50名（うち常勤5名）

名寄市体育協会 28名
会 長 1 副会長2
評議員 11 理 事7
監 事 2
○専務理事1 ○事務局4

風連町スポーツ協会22名
会 長 1 副会長2
理事長1 理事15
監 事2 事務局 1

Nスポーツ Kommission
事務局 1

スポーツ組織・団体

令和7年度～

一般財団or一般社団によって
変わります

評議員 9名
理 事 5名 ※専務理事兼事務局長含む
監 事 2名

事務局 9名

専務理事兼事務局長1名 ※新規採用
施設管理部門 3名
スポーツ振興部門 2名 ※新規採用
広報営業部門 } 3名 ※うち1名新規採用
総務管理部門 }

常勤 計7名

スポーツ・合宿推進課 6名
兼体育施設管理課（学校開放）
課長1名 主幹1名 係4名

風連地区スポーツ施設担当 3名
参事1名 係2名
※施設担当は実質0.5-1人工

名寄市総合政策部

令和7年度～令和9年度

新組織の採用状況に合わせて、令和9年度を目途に、
人材支援（新組織事務での勤務）を行う。

これに合わせて、スポーツ・合宿推進課の配置人数を
削減していく。配置人数2～3名程度まで削減見込み。

事務局体制（採用計画）

	内 容
専務理事 兼事務局長 1名	<p>「地域活性化企業人」制度を活用して1名新規採用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年収560万円程度（国からの交付税措置あり）、勤務日数の1/2以上、名寄で業務を行う ・雇用期間6か月～3年、3大大都市圏（東京・大阪・愛知）に所在する企業等の社員 ・心身ともに健康で、地方都市の活性化に意欲があり、地域の特性や風習を尊重して地域住民と積極的にコミュニケーションを図れる方。 ・スポーツトレーナーとしての実務経験や大学や専門学校で学んだ方、もしくはスポーツ行政・スポーツ団体・スポーツ関連企業でのマネジメント経験がある方は優遇。
施設管理部門 3名	<p>現行の名寄市体育協会職員を3名配置（名寄市の体育施設指定管理委託料）</p>
スポーツ振興部門 2名	<p>「地域おこし協力隊」の制度を活用して2名新規採用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年収480万円程度（国からの交付税処置あり） ・雇用期間1年～3年、都市地域から採用（住民票を異動） ・スポーツトレーナー、運動指導等の実務経験がある方、又は大学や短大・専門学校で学んだ方 ・活動内容を理解し、積極的に企画・提案・実行でき、地域の活性化に意欲と情熱があり、地域課題の解決に地域住民とともに積極的に取り組むことができる方
広報営業部門 1.5名	<p>現行のNスポーツコミッションスタッフを1名配置（名寄市のスポーツコミッション運営事業負担金）</p> <p>「地域おこし協力隊」の制度を活用して1名新規採用（総務管理部門兼務 国からの財政支援あり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年収480万円程度（国からの交付税処置あり） ・雇用期間1年～3年、都市地域から採用（住民票を異動） ・SNS・情報発信、ファンドレイジング（資金調達）、企業や他団体連携による団体価値向上を図れる人材（スポーツ人材でなくてもよい） ・総務管理部門の業務も行う
総務管理部門 1.5名	<p>現行の名寄市体育協会職員を1名配置（名寄市の体育施設指定管理委託料）</p> <p>「地域おこし協力隊」の制度を活用して1名新規採用（広報営業部門兼務 国からの財政支援あり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務・人事・経理。少年団登録やスポーツ表彰、補助・助成事業の実務。会議体運営 ・広報営業部門の業務も行う

新規人材確保の財源

新規採用人材確保に必要な費用23,000千円となるが、原則、国の補助金（10/10）を活用する。なお、補助金制度がなくなった場合は、市のスポーツ担当職員数を削減することで、その人件費相当分（最大23,173千円）を人材確保に充てる。

風連体育施設指定管理委託後
R8～

名寄市スポーツ担当3人
風連地区担当含む・会計年度任用職員含む

人件費

17,595千円

統合後
R7～

名寄市スポーツ担当3人
風連地区担当含む

人件費

25,243千円

R5比較

△23,173千円

統合前
R5～

名寄市スポーツ担当6人
風連地区担当含む

人件費

40,768千円

R5比較

△15,525千円